

ビジティング・リサーチャー論博プログラム 募集開始！

アジア圏域のソーシャルワーク教育機関の大きな期待に応える新しい試み

淑徳大学アジア国際社会福祉研究所は博士論文書き上げ準備のある方のために博士論文を完成し、学位を取得する機会を提供するビジティング・リサーチャー(VR)論博プログラムを開始、5月9日に公式ホームページやFacebookで告知しました。このプログラムはアジア諸国のソーシャルワーク大学教員養成ニーズに応えるのが目的です。

アジアの主に大学に所属する教員を当研究所に2年間VRとしてお迎えし、その間に自力で論文を完成していただきます。同時にVRには本研究所の提供する調査研究法を中心としたいくつかのコースを履修していただきます。完成し、履修を終えた方は淑徳大学大学院に論文博士(論博)申請者として推薦・紹介します。論文の審査は淑徳大学大学院が行い、合格した方には「社会福祉博士」が授与されます。

海外からはすでに多くの問い合わせが寄せられており、関心の高さが伺われます。

今後は日本語でもプログラムの案内を告知する予定です。アジア圏域のソーシャルワーク教育機関の大きな期待に応える淑徳大学の新しい試みに注目が集まっています。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。

目につかないとの声がありますので社会福祉学科の先生方にのみemailにて合わせてお送りします。

メールご不要の方はお手数ですが「アジアメール不要」とご記入いただき、アジア国際社会福祉研究所(asiainst@soc.shukutoku.ac.jp)までご連絡頂きたいお願い申し上げます。次号以降お送りすることはありません。